



竹木場小だより

令和5年度1月号

文責：校長田中

《学校教育目標》 「夢を語って夢を追う児童生徒の育成」

キーワード：「継続」「挑戦」「進化」

《学校スローガン》 「志、立てて、学んで、夢発見！」



今年もよろしくおねがいします

2024年、令和6年、十干十二支の組み合わせでは、甲辰年。始業式では、「甲辰（きのえたつ）」についてお話をしました。

「甲（きのえ）」…十干の第一。生命は物事のはじまり、成長。

「辰（たつ）」…十二支の第五。自然万物が振動し、草木が成長して、活力が旺盛になる。

つまり、「甲辰」は、新しいことに挑戦して成功する、また、これまで準備してきたことが形になる、といわれます。そのようになるには、努力が何よりも大切です。

特に、形になる、については、2学期終業式でお話した、次のことにつながりそうです。



「やってみよう」を形にする

去年から「あいさつ級」を掲げ、あいさつがどんどん上手になっている気がします。しなければいけないことを、自然にできるようになり、自らしたいなあ、やりたいなあ、と思うことを、どんどん実行してみる。こんな所に児童生徒の成長が見られると思うのです。

2学期終業式では、校長から次のような話をしました。

☆「やってみたい」から『やってみよう』 形にすること！

⇒右の写真は、中学校3年生3名が、小学生に本の読み聞かせボランティアをしたいと自ら申し出、実現したものです。

小学校1・2年生の皆さんに朝の時間を使って参加してもらいました。中学生は初めての取組でしたが、小学生に本を読む難しさを知り、そして顔を上げて耳を傾けてくれる小学生の姿に喜びをもらえる、充実した体験だったようです。また、3学期にも計画をしていると聞いています。

このように、「やってみよう」を形にすると、やったという結果と共に「課題」も見えてきます。なので、その課題も克服し、改善する努力が必要になります。そのような経験を、ぜひ、子ども達にしてほしいのです。



1月という新年の始めに、沢山の「やってみたいこと」が心に浮かんできたのではないのでしょうか。それを書いて、部屋に貼っている人もいるのでしょうか。誰かに、「〇〇をやってみようよ！」と宣言した人もいるのでしょうか。

思いを言葉にする、書いてみる、というのは、その目標をやりとげる自分自身の決意を確認する作業になります。そして、それを成功させる鍵は…「努力」しかありませんね！

大谷選手、夢をありがとう ～野球グローブ寄付に寄せて

国内で大きく報道されていましたが、野球メジャーリーガーの大谷翔平選手から野球グローブ3つが竹木場小学校にも届きました。同封されていたお手紙には、こう書かれています。

(抜粋)「この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。野球しようぜ。 大谷翔平」

大谷選手にとって、野球への感謝が伝わってきますね。竹木場小の子ども達にも、「充実した人生」を送ることができる「何か」に出逢ってくれることを願います。

この微妙にサイズが違う右利き用2個、左利き用1個のグローブは学年毎に回しながら大切に使用させていただきます。



『お金教育』の必要性

国に納めているお金に税金があります。19日(金)には5年生対象に租税教室が開催されました。お金と言えば、お正月にはお年玉をもらった児童もいたことと思います。さて、そのお年玉はその後どのように使われて行くのでしょうか。貯金?親に預かってもらう?自己管理?こういうタイミングで、「お金教育」をされてはいかがでしょう。昨今は中高生にも金融教育が始まりました。お金を貯蓄して計画的に使うことが、充実した生活を営む上で必要とされます。小学生の段階から、ご家庭で正しい金銭感覚を養うお話を沢山されてくださいね。

2月行事予定

日	曜	行事
2	金	新入生保護者説明会
6	火	児童朝会
9	金	授業参観(下学年②上学年③)
13	火	校区特別支援学級交流会⑤⑥
27	火	6年生を送る会③6年学年末懇談会④



☆「家庭学習をがんばろう」週間 2/11(日)～2/15(木)

児童は、宿題をお家で、夕飯前(後)などにしているのでしょうか。学校の空き時間等にやっつけ仕事をしていると、学力はなかなかつきません。調査等で学力が高いと言われる秋田県では、夕食後に居間など家族がいる所で、子どもが宿題をする光景があるそうです。親にとっても、子どもの学びの状況がわかるというのは良い点の一つです。ぜひ、ご家庭で学習する場、時間を設けてください。